

11月4日5日は、日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子が開催されます。八王子の駅周辺が会場です。詳しくは10・15の八王子広報にて案内がありますのでご覧ください。また「桑都ペイ」が10月18日から来年の2月まで使えます。

# 紅葉台



# 新聞

第102号

2023年

11月4日

発行人：関谷 孝

## 狭間の獅子舞 保存会の皆さんで400年の歴史を伝承

朝倉和男（保存会会長）・小野隆雄さん・小野茂男さん・辻井恵美子さん



紅葉台団地のすぐ北側。どんぐり階段を下りて駅の方に向かって歩くとその一帯が狭間町会です。枝垂れ桜で有名な高楽寺の前に最近たくさんの家が立ち並びました。その横の曲がりくねった階段を駆け上ると地元の神社（御嶽神社）があるのをご存知ですか。毎年8月の第3日曜日になると夏祭りに地元の人が集まりにぎやかな太鼓の音色が響きます。ここでは獅子舞が奉納され、天然理心流の棒術が披露されます。毎朝のラジオ体操で田中さんから、「この祭りは有名だから取材したら」と言われ出かけました。



地域の守り神である御嶽神社には大きな立札があります。それによると、1960年10月28日八王子市の無形民俗文化財に指定され、もう63年になります。その謂れが書いてありました。それによると狭間の獅子舞は、1人立ちの獅子を3人1組で舞う「三匹獅子舞」。1590年（天正18年）北条氏照から獅子頭を拝領して始まったのが起源です。武士は「武運長久」、農民は「五穀豊穰」「厄除け」との願いが込められています。



八王子市は日本文化遺産のなかの9つの獅子舞を指定しています。

「四谷の龍頭舞」「小津の獅子舞」「山入の籠獅子舞」「今熊神社の獅子舞」「田守神社の獅子舞」「氷川神社の獅子舞」「石川町龍頭舞」「梅坪の籠獅子舞」「狭間の獅子舞」です。（詳しい内容は「狭間の獅子舞」HPをご覧ください。）

今回は、保存会会長さん初め保存会の人たちのお話から、400年にもわたって連綿と継承しているお祭りが地域社会と人々を結びつける大事な役割を果たしていることに気づかされました。伝統ある獅子頭ですが、平成27年の奉納舞をもって使用をやめ、永久保存としました。現在は新調した獅子頭を使用しています。かつての古いものは大事に保存してあるそうです。

この祭りが始まった400年前の狭間村は25戸ほどの小さな農村でした。朝倉会長が子供の頃（昭和38年頃）は60戸ほどで周りは田んぼや畑が広がっていました。今では400戸ほどに住宅が増えました。かつてはこの祭りが村の唯一の娯楽で地域に

今回は、保存会会長さん初め保存会の人たちのお話から、400年にもわたって連綿と継承しているお祭りが地域社会と人々を結びつける大事な役割を果たしていることに気づかされました。伝統ある獅子頭ですが、平成27年の奉納舞をもって使用をやめ、永久保存としました。現在は新調した獅子頭を使用しています。かつての古いものは大事に保存してあるそうです。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

とっても大きな行事でした。青年は法螺貝や棒術の練習をします。剣術も勇ましく凛々しいです。女の子は花笠を作り、牡丹の模様の着物を着て街をそぞろ歩きました。花笠は毎年集まって和紙や綿を使って新しく牡丹の花を作ります。写真を見るととても綺麗で豪華です。笛と獅子舞の唄も獅子舞に合わせて歌詞が作られています。牡獅子2頭が牝獅子1頭をめぐり唄に合わせて舞います。最近、この祭りのことを書き記した書物が見つかりました。（峯尾丈一・著）

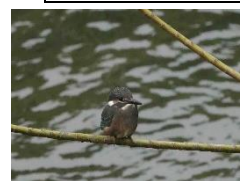


このような一連の祭りの準備は老若男女が集まって練習をすることで文化を伝承し、若い人も巻き込んで地域の人たちを結び付けてきました。今年はコロナ禍後4年ぶりの祭りにかつてない盛り上がりがありました。とくに若い人たちや子供たち、外国の人も加わって多様な文化になったと感じたそうです。また、八王子は車人形、獅子舞、木遣りなどの無形民俗文化財がありますが、秋にはJ:COMホールの舞台上で8つの獅子舞を順繰りに発表しています。

保存会の皆さんは、狭間の町が長い歴史の中で培われた獅子舞を通して地域の文化を伝承していきたいと抱負を語ってくれました。皆さんの熱い思いや地域への愛情、人と人が交流することで生まれるつながりの強さを感じます。何より狭間町会の皆さんの繋がりの素晴らしさがここにあると感じました。（文責 関谷）

保存会の皆さんは、狭間の町が長い歴史の中で培われた獅子舞を通して地域の文化を伝承していきたいと抱負を語ってくれました。皆さんの熱い思いや地域への愛情、人と人が交流することで生まれるつながりの強さを感じます。何より狭間町会の皆さんの繋がりの素晴らしさがここにあると感じました。（文責 関谷）

## 粕谷和夫の観察日記



カワセミは、「エネラルドグリーンが美しい鳥」と言われていますが、この写真の地味な鳥もカワセミです。これは幼鳥で天敵から身を守るための保護色とされます。

9月9日八王子・湯殿川です。



必死に生きているスズメです。9月11日八王子の某小学校4年生の川の学習で野鳥班の観察支援をしました。メヒシバというイネ科の雑草の種を食べている雀を観察できました。



彼岸花は秋の彼岸頃、突然に花茎をのぼして鮮やかな紅色の花が開花します。今年の秋の彼岸入りは9月20日（水）です。9月の半ばになっても残暑（猛暑）が続いています。9月15日長池公園では、ヒガンバナが花茎をのぼしていました。明日にも開花と思います。手前はヤブランの花です。